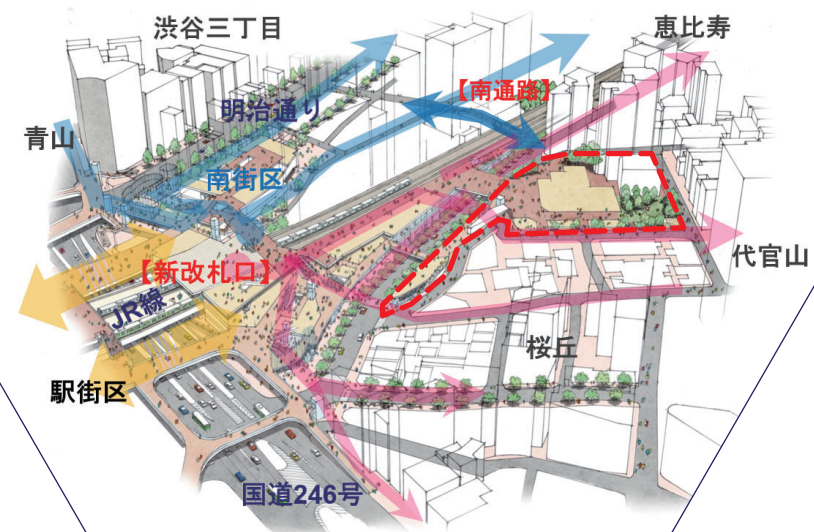


本事業は JR 線と国道により渋谷駅前地区から分断された地域が「めぐり歩いて楽しいまち」になることを目指した。周辺街区との歩行者ネットワークを強化しながら 13m 以上の敷地高低差を活かした計画となっている。



- 東西のまちをつなぐ
- 歩行用ネットワークの形成
- 駅とまちを繋ぐ

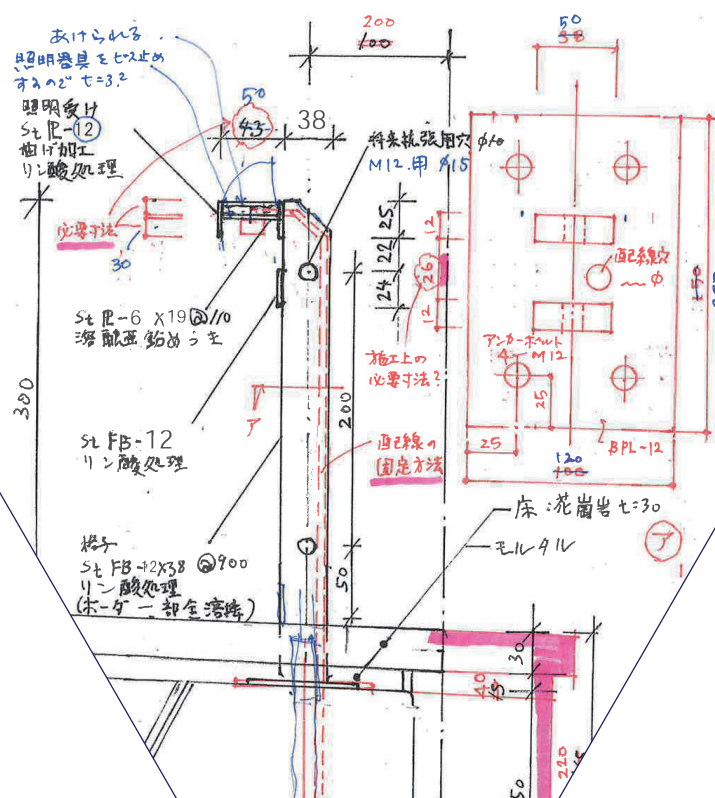
キテン
基点

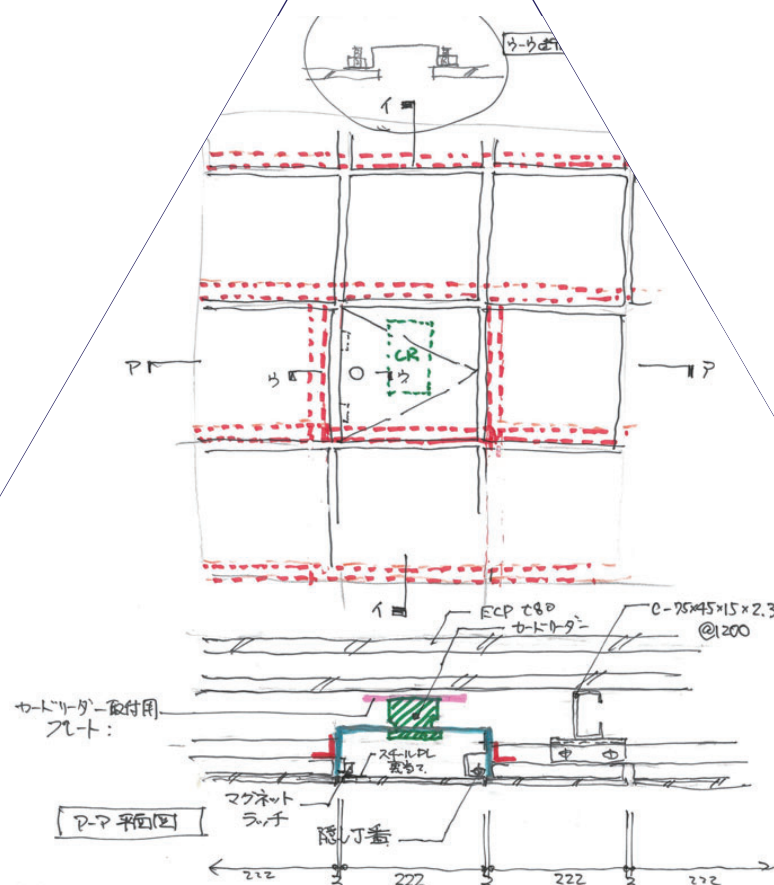
キテン
機転



ランドスケープとの一体感を創出する手摺

住宅エントランスは、手摺の高さを 300mm とし
ランドスケープの照明と手摺の照明を呼応させる
ことでランドスケープと通路空間の一体感を創出
した。





貫通通路は 200mm 角パネルの角度をつけることで
風が吹き抜けるイメージをコンピューテーショナル
デザインの手法を活用し再現した。通路にある
リーダーの納まりも緻密に設計されている。

キテン
己唸

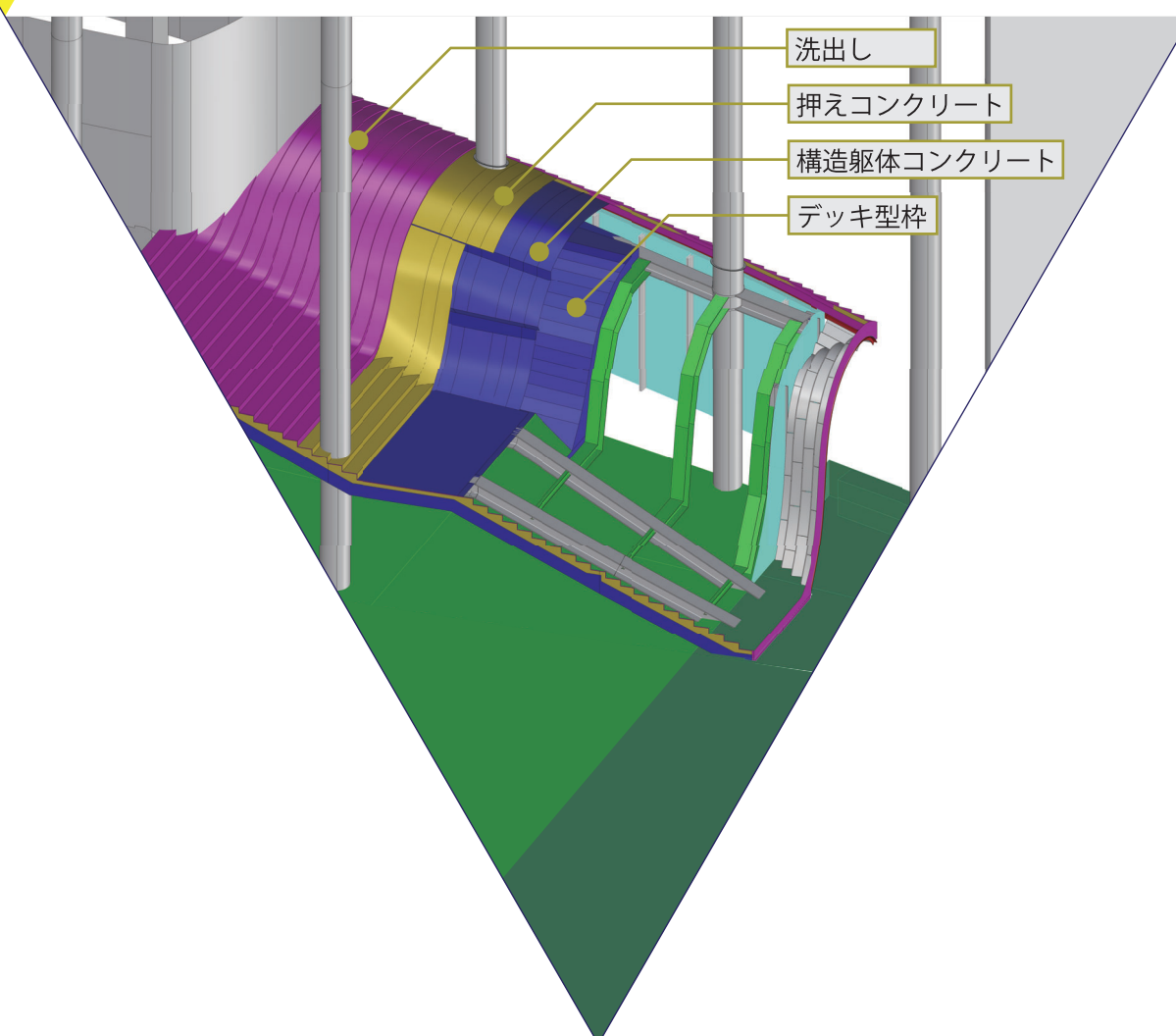
気流をパネル形状に
変換した貫通通路



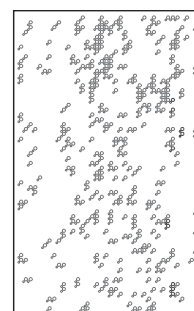
キテン
輝点

設計から施工まで一貫して活用できる
3D データを基に作られた3次元曲面階段

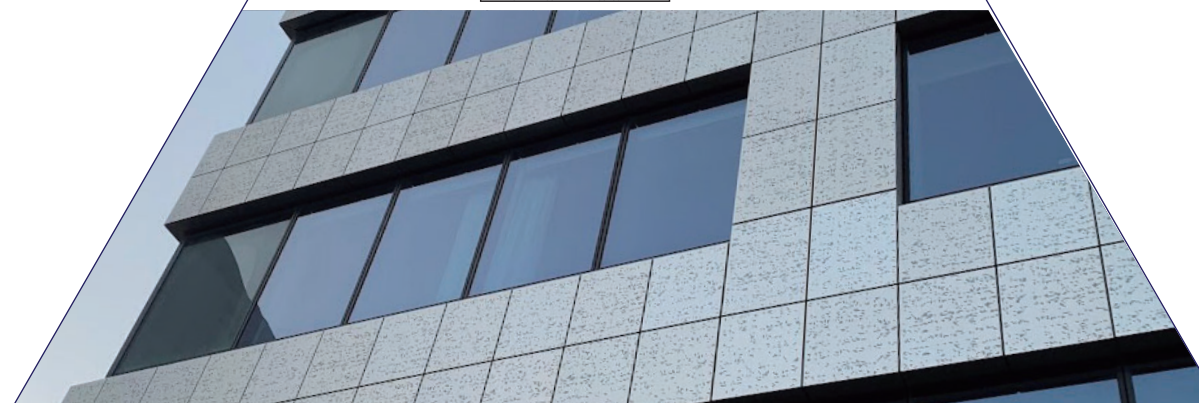
通称「重い階段」は、打合せの場で 3D データをリアルタイムでシミュレーションすることにより、施工性、経済性を検討しながら「3次元曲面の複雑形状」を実現した。



キテン
嬉転



アルミパネル
パンチングパターン



高層部で使用するアルミパネルは、2種類の穴をランダムに配置することで工業製品でありながらも素材感を感じさせる仕上とすることで、街並みに呼応した外装を実現している。